

近畿高体連サッカー部
公式記録

会場責任者	主審サイン
相沢 政裕	足立 正輝

大会名	平成30年度 第71回近畿高等学校サッカー選手権大会(男子)	1回戦	①	平成30年6月16日 (土)	競技時間	70分	記録者	田中 智晃
会場	J-GREEN堺 S2	天候	晴	10:00	観衆	500人	キックオフ	

主審	足立 正輝 氏	副審	A1 金森 一真 氏 A2 柏崎 万吉 氏	第4の審判員	奥村 勇磨 氏
----	---------	----	--------------------------	--------	---------

【チーム名】	関大北陽 高等学校 (大阪府1位)	kick off	3	前半	1	【チーム名】	奈良育英 高等学校 (奈良県2位)	kick off	2
--------	----------------------	----------	---	----	---	--------	----------------------	----------	---

背番号																				
PK戦																				

交代時間	シュート(得点者は*印)		学年	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学年	シュート(得点者は*印)		交代時間
	後半	前半								前半	後半	
分			2	原口 龍馬	1	GK	GK	1	嶋越 大地	3		HT 分
分		1	2	得丸 壮一郎	2	DF	DF	2	藤田 爽太郎	3	1	分
分			3	竹下 佳之介	3	DF	DF	3	山田 峻輔	3		69 分
分			3	井口 将吾	4	DF	DF	4	松本 祥	3	1	分
分			3	里村 神威	5	DF	DF	5	白澤 幸志郎	3	* 2	分
分			3	西川 修大	7	MF	DF	6	平山 健太	3		65 分
62 分			3	齊藤 慎吾	8	MF	MF	7	竹内 隆登	3		12 分
47 分			3	今井 泰祐	10	MF	MF	8	塩貝 泰盛	3		分
52 分			3	真鍋 智也	11	MF	MF	13	深見 悠生	3		50 分
65 分		1	3	松本 周	13	MF	FW	10	山川 智也	3		分

交代選手	32 分		1	3	松岡 直哉	12	FW	FW	11	石田 翔馬	3	* 1	1	67 分	交代選手
------	------	--	---	---	-------	----	----	----	----	-------	---	-----	---	------	------

番	分	番	氏名	事由	合計	後半	前半	チーム合計	後半	前半	合計	番	氏名	事由	合計
		3	大内 朔弥					17	GK	GK	12	3	稲積 優斗		1 番
		3	山田 舟瑚					15	DF	GK	23	2	結城 叶		番
13 番		2	奥野 源之祐					20	DF	DF	16	2	三家本 悠馬		番
10 番		1	衣川 智裕					6	MF	DF	24	3	的場 圭吾		番
8 番		3	笠島 柊二					14	MF	MF	9	3	川北 大希		3 番
番		2	坪田 浩暉					16	MF	MF	17	2	濱上 賢人	1	6 番
11 番		2	河岡 輝星					22	MF	MF	18	2	池之上 颯麻		11 番
23 番		2	片岡 慎太郎					9	FW	MF	21	2	霞流 大輝		7 番
12 番	56 分	1	坂倉 信之介					23	FW	FW	19	3	小島 聡介		13 番

合計	5	5	小計	10	合計	シュート数	合計	7	小計	1	6					
警・退	時間	番	氏名	事由	合計	後半	前半	チーム合計	後半	前半	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				4	3	1	G K	6	7	13	警告	39 分	4	松本 祥	反スポ
	分				5	2	3	C K	0	2	2		分			
	分				7	5	2	直接 FK	5	7	12		分			
	分				0	0	0	間接 FK	2	2	4		分			
	分				0	0	0	P K	0	0	0		分			

得点	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過	
					前半	後半
	5 分	関大北陽	西川 修大		(中央) ⑦ S	
	14 分	奈良育英	石田 翔馬	山川 智也	(右) ⑩ ~ → (中央) ⑪ S	
	16 分	関大北陽	井口 将吾	里村 神威	(右) CK⑤ n (中央) ④ HS	
	28 分	関大北陽	齊藤 慎吾	里村 神威	(左) ⑤ ~ → (中央) ⑧ S	
	68 分	奈良育英	白澤 幸志郎	塩貝 泰盛	(右) CK⑧ n (中央) ⑤ HS	

(略号例) ~ :ドリブル → :ゴロのパス n :浮球のパス H :ヘディング HS :ヘディングシュート X :混戦 S :シュート
 オウンゴール こぼれ球 (中央) (右) (左) 直接FK 間接FK GK 右CK 左CK スローイン バー返し ポスト返り

戦評者氏名 (徳 永 貴 之) 勤務先又は所属 (大阪府立 刀根山高等学校)

関大北陽は1-4-4-2、奈良育英は1-4-1-4-1で開始。前半立ち上がりから、前線からの積極的な守備でリズムを掴みたい北陽のペースで試合が進み、北陽がMF⑦西川のミドルシュートで先制点を奪う。一方で奈良育英は、GKからのビルドアップを図るも、1人1人のポジショニングが悪く、広がるだけの傾向にあり互いの距離が遠く、前進するパスが狙われ、北陽に奪われる展開が続き、結果的に北陽の狙い通りに試合が進んだ。奈良育英はRSH⑩山川の突破から同点ゴールを奪ったが、同じような展開が続き、北陽が追加点を重ね、3-1で前半を終えた。後半、北陽のプレッシングが弱まり、縦パスを中央に入れ始めた奈良育英が時折ペナルティエリアに侵入したが、得点が奪えず、北陽もメンバーを変えながら追加点を狙ったが、チャンスを作り切れず膠着。終盤に奈良育英がCKから1点を返すもこのまま3-2で関大北陽が勝利した。関大北陽は1stプレスが効かず相手に縦パスを中央のギャップに入れられると、簡単に相手に前進を許し、その結果失点に繋がるシーンが見られたため、ボランチとSHの間のスペースやゾーンディフェンスの意識、中盤とDFラインの幅をいかにケアするかが今後の躍進のカギだと思われる。